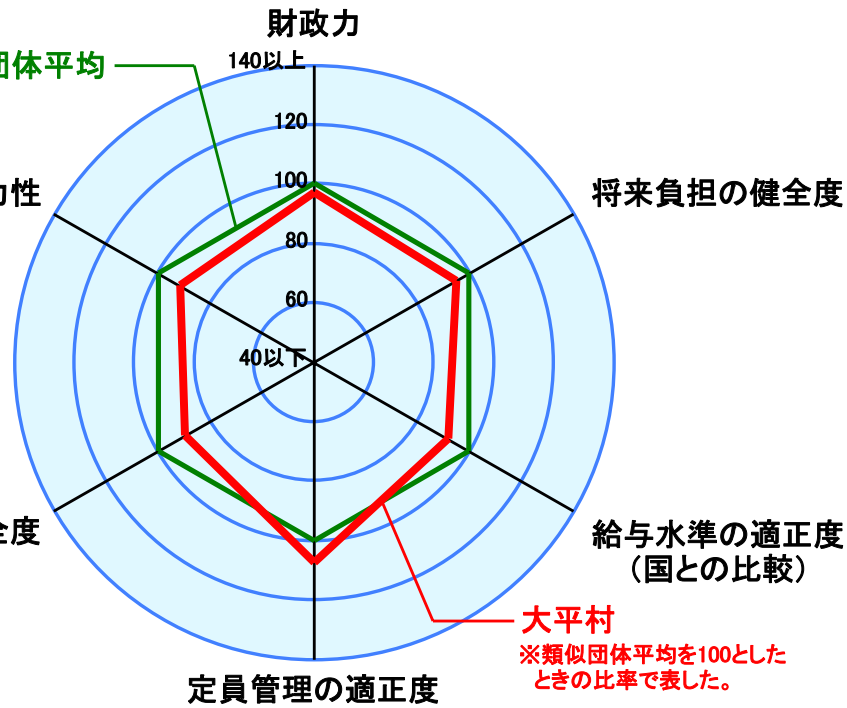


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 大平村

人口	4,237 人(H17.3.31現在)
面積	48.96 km ²
歳入総額	2,882,608 千円
歳出総額	2,800,350 千円
実質収支	71,856 千円



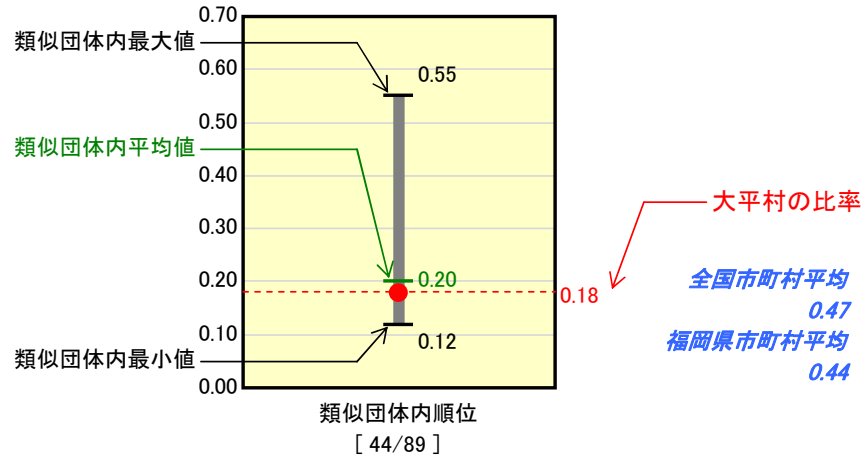
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年末 31.3%)に加え、村内に中心となる産業がないこと等により財政力が低く、類似団体の平均値を下回っている。平成17年度の新吉富村との合併により行政の効率化及び財政の健全化を図る。
- 経常収支比率
前年度より9.1ポイント上昇し、類似団体平均を6ポイント上回っている。主な要因は、普通交付税の減少並びに歳出における公債費の増加である。今後は、歳入における経常一般財源の確保が厳しい状況であるので、行政改革等の取り組みを行い、義務的経費の削減に努める。
- 起債制限比率
普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を上回っている。今後は、合併を契機に、起債に依存した事業の実施を見直し、起債制限比率の上昇を抑える。
- 人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を上回っている。主な要因としては、平成13年～14年に実施した過疎債による大規模事業(温泉館整備事業)等があげられる。今後は、合併を契機に計画的な起債を行うことにより適正な水準となるよう努める。
- ラスパイレス指数
類似団体平均を上回る95.3となっている。人件費の削減は財政の中期展望に基づいて今後も削減に努める。
- 人口1,000人当たり職員数
類似団体平均を上回っているが、合併後は定員適正化計画を策定し効率的な行政体制づくり及び職員の配置を行っていく。

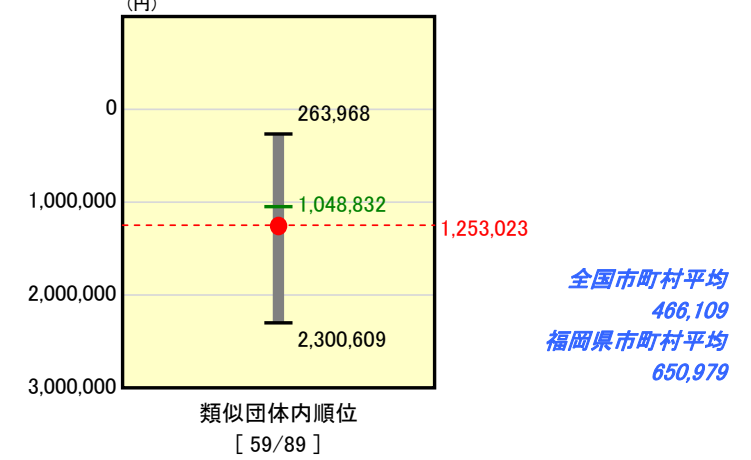
財政力

財政力指数 [0.18]



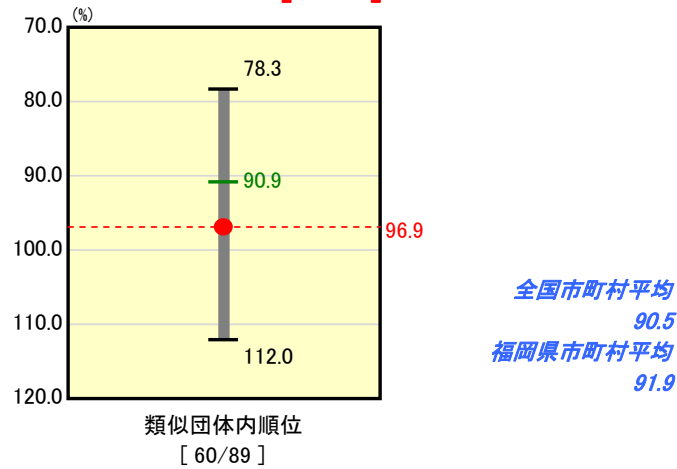
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [1,253,023円]



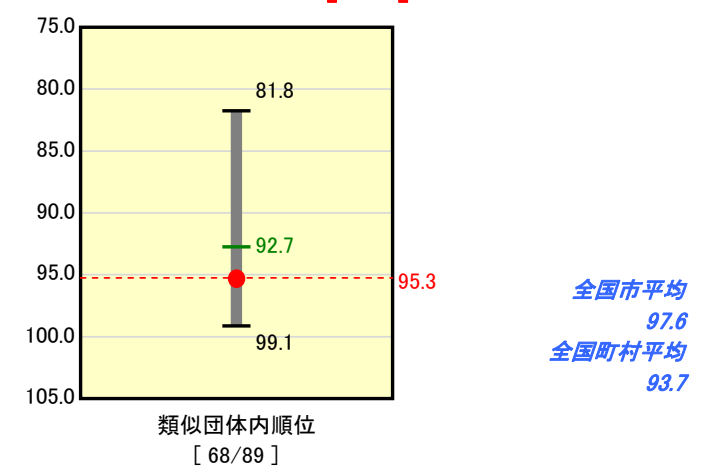
財政構造の弾力性

経常収支比率 [96.9%]



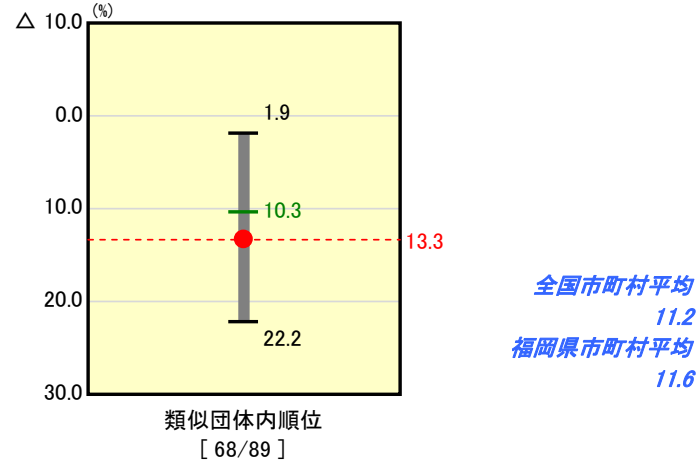
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 [95.3]



公債費負担の健全度

起債制限比率 [13.3%]



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [14.40人]

